

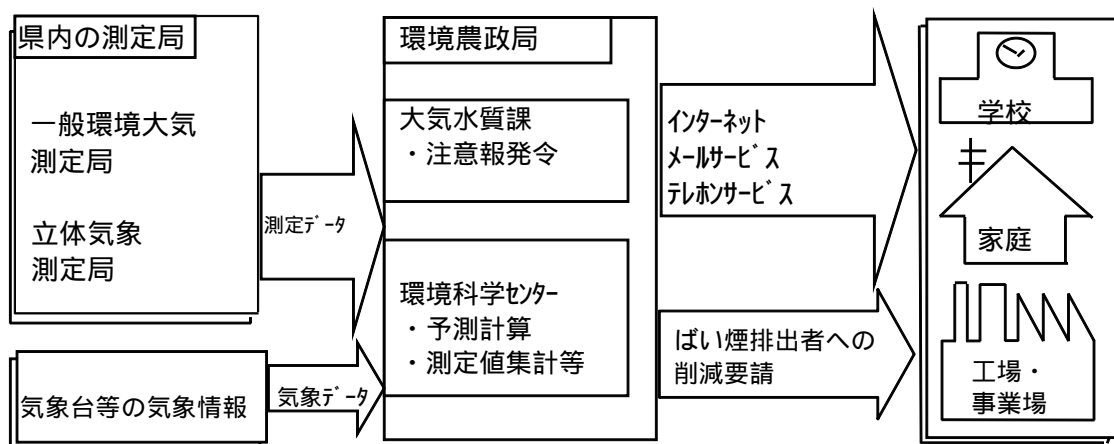
第3章 情報の提供と緊急時の対応

- 健康被害の未然防止のために -

光化学大気汚染による被害発生の未然防止を図るため、本県では県内 60 局で光化学オキシダント濃度の監視を行い、その測定データ及び気象台などから送られる各種気象データをもとにした「光化学大気汚染情報」（注意報等発令の情報）をテレホンサービス及びインターネットにより 4 月から 10 月までの期間、毎日提供しています。また、光化学オキシダント等濃度の 1 時間値(速報値)についても、インターネットで情報を同様に提供しています。これに加えて、注意報等の発令状況や高濃度についての情報を、携帯電話等へのメールサービスで提供しています。

さらに、光化学スモッグ注意報等の緊急時措置発令時には、市町村等を通じて県民の方々へ注意を促すとともに、主要ばい煙排出者（緊急時措置対象工場）に対して、燃料使用量等の削減を要請しています。図 3-1 に、光化学大気汚染の監視と情報提供についての概略図を示します。

図3-1 光化学大気汚染の監視と情報提供



第1節 光化学大気汚染情報

光化学大気汚染情報の内容は、原則として午前 10 時（当日情報）と午後 5 時（前日情報：翌日の情報）に更新しています。また、注意報等（緊急時措置）発令時には、解除されるまで逐次最新の情報を提供しています。

この情報は光化学オキシダントの濃度及びその継続性により「神奈川県大気汚染緊急時措置要綱」に基づいて判定されており、予報(前日・当日)、注意報、警報及び重大緊急時警報の 4 段階に分かれています。（巻末参考資料参照）

表 3-1 に光化学スモッグ情報等の内容と被害を防止するために必要な措置を示します。

表 3-1 光化学スモッグ情報等の内容と被害の防止措置

情報等	内容	被害の防止措置
B型 (情報)	気象条件によって今日(明日)は県下に光化学スモッグが発生するおそれがある。	注意報等の発令に注意するとともに、オキシダント濃度が上昇しやすい気象条件(視野が悪い、無風又は微風、晴れ又は曇、気温25 以上等)の場合、屋外で運動を行う時は、子供の状態を十分把握し、特に水泳や過激な運動はなるべく避け慎重に行う。
緊急時措置	A型 (予報)	今日(明日)は県下に光化学スモッグが発生するおそれが大きい。
	注意報	現在〔地域〕*に光化学スモッグ注意報が発令されている。 注意報発令中の地域では、自動車の使用、外出及び学童・生徒の過激な運動を自粛させる。
	警報・ 重大緊急時警報	現在〔地域〕*に光化学スモッグ警報(重大緊急時警報)が発令されている。 警報(重大緊急時警報)発令中の地域では、自動車の使用、外出の自粛及び学童・生徒の過激な運動を中止させる。

* [地域]は、(横浜)、(川崎)、(相模原)、(横須賀)、(三浦)、(湘南)、(西湘)及び(県央)の8地域区分。(表 2-2 光化学大気汚染緊急時措置等の発令地域区分(P5)参照)

第2節 緊急時の連絡体制と措置

緊急時措置の発令に当たっては、情報の提供及び伝達を迅速かつ的確に行い、県民の被害防止措置及び主要ばい煙排出者の燃料使用量等の削減措置を速やかに行う必要があります。

このため本県では、緊急時措置発令時には図 3-2(平日)及び図 3-3(休日)により措置内容を連絡し、関係機関及び市町村と協力して県民の方々の被害防止に努めています。

1 一般県民への情報の周知

(1) テレホンサービスによる情報提供

テレホンサービス 050-5893-9342
050-5893-9343

(2) インターネットによる情報提供

ホームページアドレス
<http://www.pref.kanagawa.jp/sys/taikikanshi/haturei/index.html>

(3) 携帯電話等への光化学スモッグ注意報情報等のメールサービス

携帯電話・インターネットのメーリング機能を利用して、注意報の発令等を情報提供します。メーリングリストには次の2種類があります。

ア 光化学スモッグ情報メール

光化学スモッグ予報、注意報等の発令や解除を知ることができます。
光化学情報が発信されたときに送信します。

イ 大気濃度1時間値メール

注意報発令直前の濃度を知ること、事前の準備ができます。

1日の内で、登録した区域で、最初にオキシダント濃度の1時間値が0.1ppmを超えた時だけ送信します。濃度が下がり、再度オキシダント濃度の1時間値が0.1ppmを超えた時には送信しません。

登録や解除の仕方は次のアドレスを参照ください。

<http://www.pref.kanagawa.jp/sys/taikikanshi/haturei/tourokuhouhou.htm>

(4) 市町村等による情報提供

市町村及び県地域県政総合センターにおいて表示板の掲示をするほか、防災無線等により情報の周知徹底を図っています。

図3-2 平日(月～金)における緊急時措置発令時の連絡体制

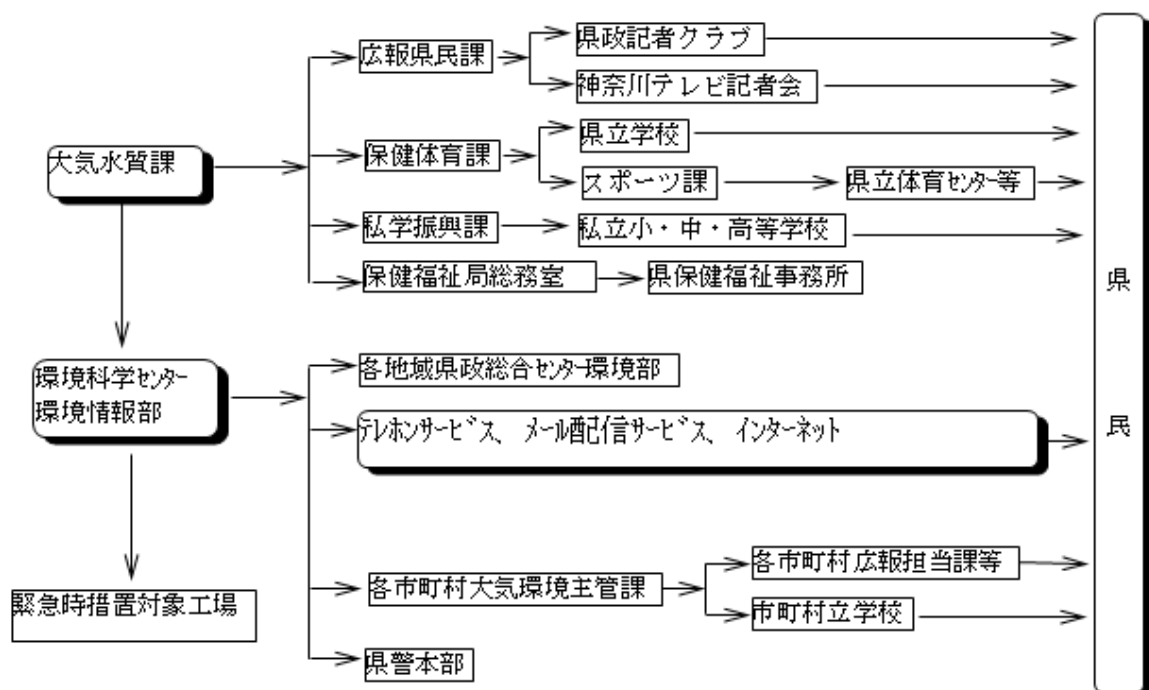
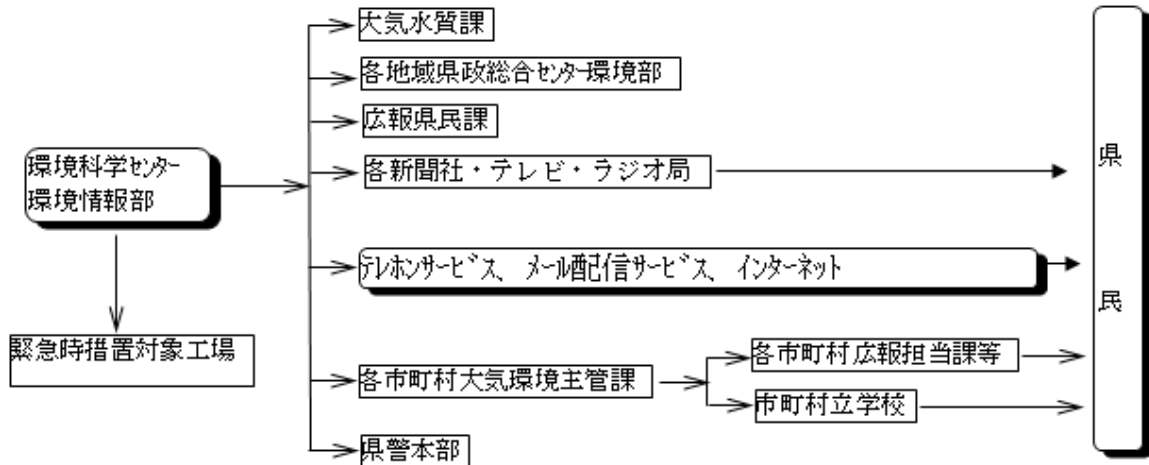


図3-3 休日(土・日・祝祭日)における緊急時措置発令時の連絡体制



2 学校への情報提供

県立学校を除く公立学校には、市町村大気環境主管課を通じて市町村教育委員会から情報の連絡周知を行っています。また、県立学校には「県立学校等における光化学スモッグによる被害の防止について」(神奈川県教育委員会)に従い、緊急連絡網を用いて教育局保健体育課から、私立学校には県民局私学振興課から情報の連絡周知を行っています。

連絡を受けた各学校においては、児童、生徒の体育等での屋外活動の自粛等被害防止措置を徹底しています。

3 平成27年度光化学関連情報の利用件数

単位 回

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	計	備考
テレホンサービス	166	435	260	905	666	246	137	2,815	着信件数
パソコン版光化学情報へのアクセス数	15,245	23,901	9,430	24,338	13,501	4,727	4,476	95,618	光化学注意報発令状況メインメニュー
携帯電話版光化学情報へのアクセス数	7,158	8,347	6,771	8,833	6,154	4,989	4,774	47,026	大気汚染情報携帯サイト

平成27年10月末時点 メール登録者 延べ 6,158件

4 主要ばい煙排出者の措置

光化学オキシダントに係る主要ばい煙排出者(緊急時措置対象工場)は、神奈川県大気汚染緊急時措置要綱第9条第1項で原料及び燃料の重油換算使用量が常用最大で1時間当たり1.5kLを超える工場・事業場及び廃棄物焼却炉において焼却する原料の重油換算使用量が定格で1時間当たり4.0kLを超える市町村等の一般廃棄物処理場と規定しています。

緊急時措置発令時には、専用ファクシミリを用いて直ちに連絡を行い、主要ばい煙排出者（緊急時措置対象工場）に対し燃料使用量等の削減措置を要請しています。

削減措置の内容

前日予報（A型）：翌日午前6時から、通常燃料使用量の削減等を行う。

当日予報（A型）：ばい煙減少計画の注意報段階措置の協力要請を行う。

注意報：通常燃料使用量の20%削減等を行う。

警報：通常燃料使用量の25%削減等を行う。

重大緊急時警報：通常燃料使用量の40%削減等を行う。

5 公安委員会の措置

過去4回発令された警報時には、公安委員会では道路交通法に基づき、発令地域内周辺のう回指導を実施する等、緊急時における交通規制を行いました。

なお、本県の大気汚染緊急時措置要綱では、重大緊急時警報において、その事態が自動車排出ガスに起因する場合には、県知事は大気汚染防止法に基づき、県公安委員会に対し交通規制を要請することになっています。

第3節 被害発生時の対応と連絡体制

被害が発生した場合は、次のことに留意して適切な措置をとり、その後速やかに被害の届出を行う必要があります。

1 被害が発生したときの対応

- (1) 目、のど、鼻等に刺激や痛みを生じた場合や、頭痛や吐き気等の症状が現れた場合には、屋外での運動（身体活動）をすべて中止し、うがいや洗眼をさせ、室内に入れる。また、風向きを考慮して窓を閉じるなど外の空気が入らないようにする。
- (2) 必要に応じて、医師の手当てを受ける。
- (3) 被害を受けた子供や周りの子供たちが、被害について心理的な影響を受けないよう十分配慮する。

2 連絡体制

被害が発生した場合は、健康被害状況連絡票に基づき、速やかに関係機関へファクシミリ等により連絡する必要があります。

その場合の連絡体制を図3-4、健康被害状況連絡票を図3-5に示します。

図3-4 被害発生時の連絡体制

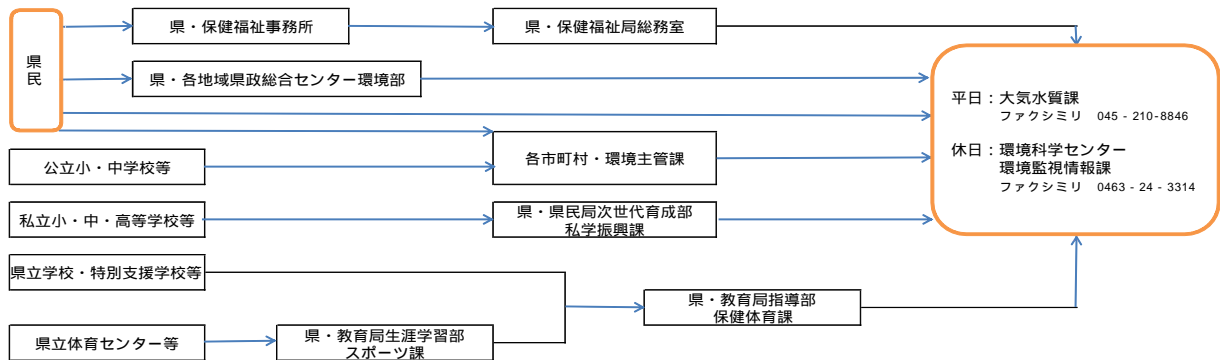


図3-5 光化学スモッグによる健康被害状況連絡票

健康被害状況を聞き取りした方が太枠を御記入ください

発生状況	連絡者の氏名 所属 電話番号 被害者との関係		例 日本 太郎 日本大通保育園 045-210-4111 保育園職員
	発生日時	月 日() 時 分頃	2015年7月27日 12:20
	発生場所		横浜市中区日本大通 象の鼻公園
被害状況	被害発生時の状況	活動 予報・注意報等の受信 あり なし	活動 屋外活動中 (ピクニック) 予報・注意報等の受信 <input checked="" type="checkbox"/> あり なし
	被害の症状	目の痛み のどの痛み 頭痛 呼吸困難 その他 熱中症との相違確認 <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しない	<input checked="" type="checkbox"/> 目の痛み <input checked="" type="checkbox"/> のどの痛み 頭痛 呼吸困難 その他 熱中症との相違確認 <input checked="" type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しない
	処置と経過	直ちに 安静にした 症状は回復 <input type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しない 病院へ 行った <input type="checkbox"/> 行かない	直ちに 屋内に入り 安静にした。 症状は回復 <input checked="" type="checkbox"/> した <input type="checkbox"/> しない 病院へ 行った <input checked="" type="checkbox"/> 行かない
被害者の詳細	人数・性別・年齢		大人1人 (女1人:28歳1人) 幼児4人 (男2人:3歳1人、4歳1人) (女2人:4歳2人)

